

調査委員会における調査研究報告書

教科名（図画工作）

調査研究の観点	所 見	
	発行者（開隆堂） 発行者番号（9）	発行者（日本文教） 発行者番号（116）
1 内 容	○ 作品例として取り上げているものも多岐にわたっており、児童の思いや表現方法を尊重した活動を進めていけるよう配慮されている。 ○ 各題材の作例がバラエティーに富んでいる。外国の児童作品も掲載されている。 ○ 使える材料や、表現技法についてまとめて表しているのも、子どもが見てわかりやすい。 ○ 学習のめあてが単元名のとなりにすっきり書かれてある。また、目標と評価の関連が明確である。 ○ 夢を追っている作家からのメッセージが載っていて、キャリア教育にも繋がっている。 ○ 作品が素晴らしい。 ○ 「みんなのギャラリー」は各地方の文化に触れている。 ○ 題材に関連した作家の作品も掲載されている。	○ 題材の幅が広く、児童の関心・意欲を引き出し、児童の主眼的な活動を促すことができるようになっている。 ○ 「形や色を楽しもう」では、形や色・イメージに対する捉え方や、伝統文化などを再認識することができる内容が色濃く出ている。 ○ 各題材の作例がバラエティーに富んでいる。 ○ 片付けがしっかり示されているので、指導しやすい。また、環境教育への配慮もされている。 ○ 図工科として、他の教科にはない、道具の安全な取り扱いが適宜示されており、指導しやすくなっている。 ○ 「教科書美術館」ではテーマに即したいろいろな国の作品が並べてある。ただし3・4年上だけ美術作品でなく道具を並べている。 ○ 造形遊びや作品展示に大がかりなものが多くある。 ○ 題材に関連した作家の作品も掲載されており、また関連題材のところに「…ページも見てね」と書いてある。
2 構成・分量	○ 低学年から高学年までのそれぞれの分野の系統性がわかりやすくできている。また、バランスもよい。 ○ 分量についてはそれぞれの上下巻、学年ともに取捨選択すればよいので、これくらいあってもよいと思うが、全部こなそうと思うと多めである。似たものや同じテーマでの系統性、上下巻の中での統一を図る必要がある。 ○ 児童の作品や挿絵、美術作品などが大きく掲載されているので、学習活動に役立つ情報源になっている。 ○ 作るプロセスや図解も大きく掲載されている。これらのことは、図や絵をもとに作っていく上で有効である。 ○ 写真や図版がやや小さい。その分情報量は多くなっている。	○ 各学年とも、それぞれの分野をバランスよく取り上げている。 ○ 図画工作科のねらいがよくわかる構成になっている。 ○ 分量についてはそれぞれの上下巻、学年ともに取捨選択すればよいので、これくらいあってもよいと思うが、全部こなそうと思うと多めである。似たものや同じテーマでの系統性、上下巻の中での統一を図る必要がある。 ○ 全ての学年に鑑賞題材を設定し、児童の鑑賞の能力が養われるように紹介作品も充実している。 ○ 「造形遊び」に偏重せず、「絵や立体に表すこと」「工作にあらわすこと」が、各学年の発達段階に応じてバランスよく配置されている。
3 表記・表現	○ 教科書全体を通して色合いが明るく、作品の写真が大きく載っている。 ○ 子どもが見て作ってみたい描いてみたいと思う作品が多い。 ○ 年間の学習内容・用具一覧が目次に明記されているため、学習の見通しを持つことができる。 ○ 図画工作科として、育てたい力を3つのマークで表示している点がわかりやすい。 ○ 「ふりかえってみよう」、「ふりかえってはなしあおう」といったマークがあり、言語活動の充実という点でわかりやすい。 ○ カラーユニバーサルデザインを採用しているのでわかりやすい。 ○ 子どもの出来上りの作品とか、“ふり返ってみよう”の言葉だけでなく、ねらいが伝わるとよい。 ○ 教科書6冊の表紙が似たようなイメージの作品になっている。	○ 自然な色合いでやさしいイメージが全体にある。子どもの表情がとても良く、このような顔を出来る指導をするために題材をどう取り上げればよいのか指導者が工夫する必要の大事さが伝わってくる。 ○ チーロさんというキャラクターが登場し、発想や構想が広がりにくいとき、ヒントを、また、鑑賞する時の視点などをアドバイスしてくれるため、子供たちに興味関心をもたせることができる。 ○ 学習のめあてである「楽しんですること」「かんがえること」「工夫すること」「見たり感じたりすること」の4つの観点が明確に示され、また重点化してほしい観点を下線で表示してあるので、子供や図工を指導する教員にとってもわかりやすい。 ○ 各題材のページの中に、学習の「めあて」「きをつけよう」「かたづけ」が記載されているので、その活動のプロセスつかむことができる。 ○ 6冊の表紙絵がバラエティーに富んでいる。また、裏表紙にある表紙の作品の解説がある。 ○ 見開きの大きな写真など、写真が見やすい。
4 使用上の便宜	○ 教科書がA4版になっている。中学年、高学年にとっては、ダイナミックな作品鑑賞ができてよい。低学年の子供にとっては大きめで、道具箱には入れにくい。 ○ 基礎的・基本的な材料や用具の扱い方をまとめて提示してあるだけでなく、児童が戸惑いやすいところを丁寧に解説している。 ○ 折り込みページは迫力があってよい。 ○ 風神、雷神の屏風絵が中ページに大判見開きで載っている。	○ A4サイズより縦が切れている変形サイズなので、B5サイズより誌面は大きく見やすい。 ○ 写真や図版等で作品の制作手順が示され、活動の様子と授業の流れがつかみやすい。 ○ 道具の扱い方の説明ページや、評価の観点は、学級担任でもわかりやすい。 ○ 折り込みページは迫力があってよい。 ○ 風神、雷神の屏風絵が表紙の次のページに大判見開きで載っている。また色彩もよい。